

# 新・こどもと健康

No.26

2019.3.1

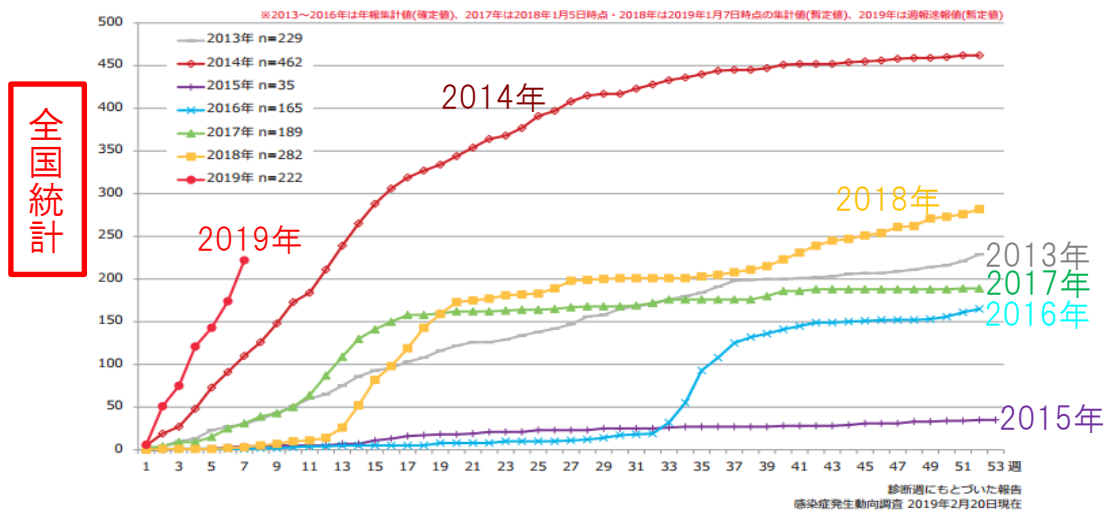
## お詫び

急性疾患および検査治療処置による合併症により、2月2日から21日にかけて赤澤が外来診察ができず、ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

## 今年、大阪府が麻疹累積患者数日本一に

大阪府での麻疹は2019年に入って2月17日までに既に81例報告され、今年に入って累積患者数は日本一多い都道府県になってしまいました。ちなみに都道府県別人口100万人当たりの麻疹報告数でみると、三重県が27.0で1位、大阪府が8.7で2位、和歌山県が7.3で3位です。

生後6か月頃からMRワクチンの1回目が終わって免疫ができるまでの2週間後頃までと、28歳位から41歳位までが感染のハイリスク群です。感染を予防するには、ワクチンしかありません。

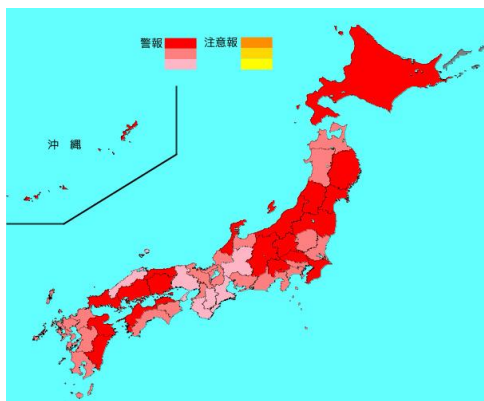


(出典: 国立感染症研究所HP『感染症発生動向調査(IDWR) 速報グラフ 2019年07週('19/02/20現在) meas19-07.pdf』、大阪府HP『麻疹(はしか)について』、大阪府感染症情報センターHP『大阪府内における麻疹(はしか)の発生について(第2報)』)

## 麻疹風疹(MR)ワクチンの定期接種を受けましょう

後述の風疹のこともあり、最低限、1歳以上2歳未満の第1期と、小学校就学1年前の学年、いわゆる年長さんの第2期の定期接種対象の方で、未接種なら、なるべく早めにMRワクチンを受けましょう。年長さんの第2期は3月31日が締切です。今年の3月31日は日曜日ですので、実質30日(土)までに未接種の方は忘れずに受けてください。

## インフルエンザ警報レベル一旦終息、AH1 pdm09→A香港型に



インフルエンザは大阪府では第4週(1月21日から27日)の定点当たりの報告数(=報告1施設で1週間にインフルエンザと新たに診断した患者さんの数の平均)47.99をピークに、第7週(2月11日から17日)では9.28まで落ち着きました。堺市では第3週(1月14日から20日)の52.45をピークに、第7週では12.21まで減り、大阪府の第8週(2月18日から24日)の速報値では6.49で大阪府調査全ブロックで警報レベル終息基準値の10.00を下回りました。

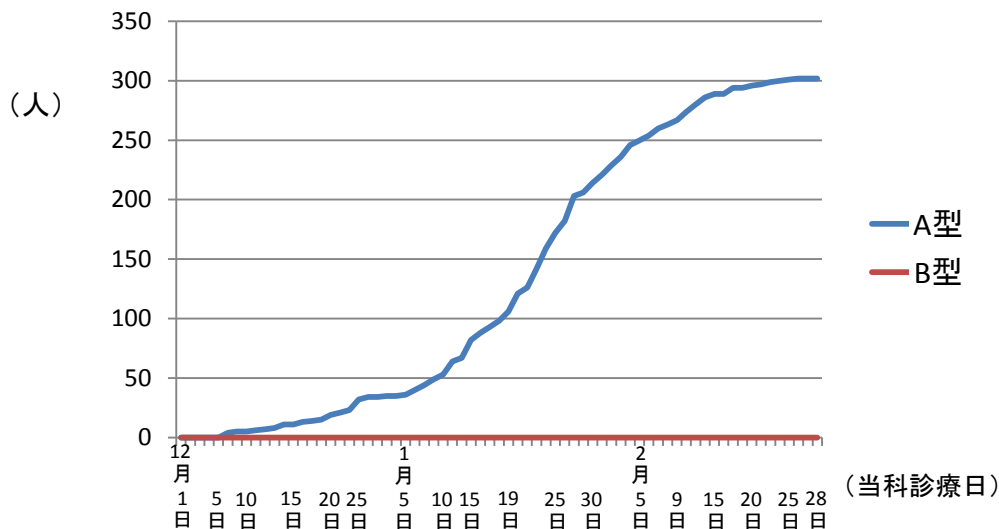
2018年9月3日から2019年2月17日までの全国の累積推定受診者数は約1075.2万人です。

2月17日までの5週間の国内でのインフルエンザの検出状況を見ると、AH3亜型(いわゆるA香港型)が62%、AH1pdm09(いわゆる新型)が36%、B型が2%とあります。

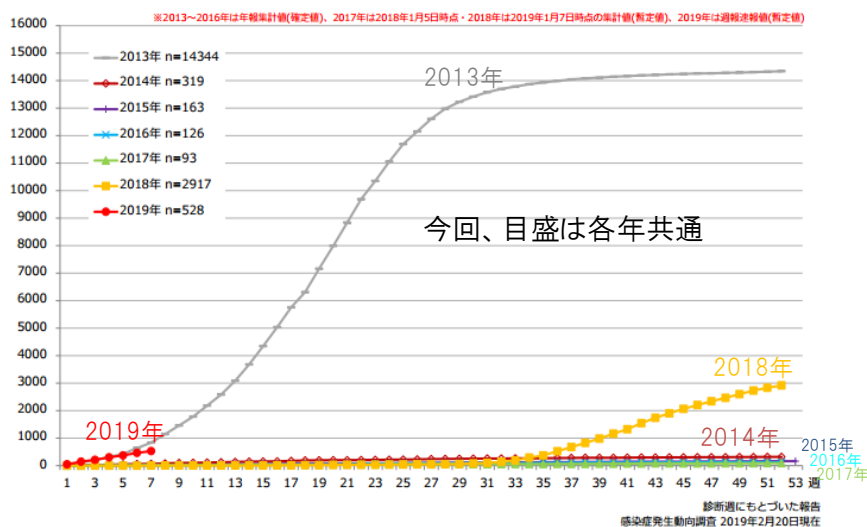
(出典: 国立感染症研究所 感染症情報センターHP『インフルエンザ流行レベルマップ2019年2月20日現在』、大阪府感染症情報センターHP『インフルエンザ関連情報』)

## 当科のインフルエンザの流行状況について

2018/19シーズンのインフルエンザは当科では2018年12月7日から確認され、12月は全員A型で35名でした。1月も全員A型で186名おられ、2月も全員A型で81名、累計は302名になっています。当科でもAH1pdm09(いわゆる新型)からA香港型に移行してきていると思われ、A型が2回目という方がおられますが、かなり収まってきました。



## 風疹のその後



全国の2018年の風疹の累積患者は2,917例でした。2019年に入ってから2月17日までの速報値で既に528例となっています。特に2月11日から17日までの1週間で81例も増えています。

大阪府では、風疹の報告数は2017年の累計が10例、2018年累計で123例でした。2019年に入ってから2月24日までで60例が報告され、拡大中です。

(出典: 国立感染症研究所 HP『風疹 感染症発生動向調査 2019年2月20日現在』、同 感染症疫学センターHP『風疹流行に関する緊急情報: 2019年2月20日現在』、大阪府感染症情報センターHP『風しん情報2019年2月21日更新分』、大阪府感染症発生動向調査週報(速報)2019年第8週(2月18日~2月24日))

## 堺市は4月1日から18歳まで子ども医療費助成制度の対象に(再掲)

所得制限はなしで、平成13年4月2日から平成15年4月1日生の方が対象です。申請が必要で、1月下旬に申請書と手続きの案内を送付とありますが、申請されましたでしょうか？

(出典: 堺市HP『平成31年4月1日から子ども医療費助成の対象者を18歳まで拡充します』)

3月・担当医の変更

19日(火) 赤澤→片桐